

令和 7 年(2025 年)1 月 8 日

豊中市長
長内 繁樹 様

豊中市総合計画審議会
会長 久 隆浩

2024 年度(2023 年度実施分)政策評価結果について (答申)

令和 6 年(2024 年)10 月 1 日に本審議会に諮問された、2024 年度(2023 年度実施分)政策評価結果について、審議結果を別紙のとおり答申します。

**2024年度(2023年度実施分)
政策評価結果について**

(答 申)

令和 7 年(2025 年)1 月

豊中市総合計画審議会

目 次

I. 答申にあたって 1

II. 2024 年度（2023 年度実施分）政策評価結果への意見 2

III. 審議経過・審議会委員 4

<参考資料>

○2024 年度（2023 年度実施分）政策評価結果

I. 答申にあたって

豊中市は、第4次豊中市総合計画基本構想にまちの将来像「みらい創造都市とよなか〜明日がもっと楽しみなまち〜」を掲げ、その実現のために令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）を計画期間とする第4次豊中市総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）の推進に取り組まれています。

また、後期基本計画は、「令和9年度（2027年度）末に実現したい状態」と「重要目標達成指標（KGI）」を設定し、どれだけ実現したい状態に近づいているかを基本的な視点として、政策評価を行っています。

豊中市総合計画審議会では、政策評価の適正な運用及び客観性の向上を図るため、取組みの成果や残された課題・今後想定される事項をふまえて、今後の取組みが書かれているか、またそれぞれの内容がわかりやすいものになっているかを分野横断的かつ俯瞰的な視点に立ち、検証を行います。

本年度の審議会では、2024年度（2023年度実施分）政策評価結果について、各施策シートが、全市的な方針に沿った内容になっているか、市民にとってわかりやすい評価になっているかの視点で審議しました。

政策評価の客観性の向上や各施策に位置付ける「令和9年度（2027年度）末に実現したい状態」の達成に向け、着実に推進いただけることを期待します。

令和7年（2025年）1月8日
豊中市総合計画審議会
会長 久 隆浩

Ⅱ. 第4次豊中市総合計画 後期基本計画(行政素案)への意見

当審議会では、2024年度(2023年度実施分)政策評価結果において、第三者の立場から、政策評価が総合計画の「令和9年度(2027年度)末に実現したい状態」や施策や施策の方向性、全市的な方針に沿った内容になっているか、市民が読んだときにわかりやすくなっているかの視点から審議を行い、意見として取りまとめました。

1	【PDCAサイクルに基づく評価について】 施策シートの変更により、前年度と比較して全体的にPDCAがよりわかりやすい評価となった。「令和9年度(2027年度)末に実現したい状態」に対して、取り組みや成果、課題、今後の方向性のつながりを記載するとともに、進捗状況を明らかにすることで、さらにわかりやすい評価を心掛けられたい。
2	【全市的な方針をふまえた評価について】 各施策の中で、全市的な方針(子育てしやすさN0.1等)をふまえた取り組みや成果となっていることがわかるよう記載されたい。また、複数部局が連携している場合や他の施策へ波及効果をもたらすような場合は、そのことがわかるよう記載されたい。
3	【分野間・施策間の関係性について】 分野間、施策間の関係性を整理し、異なる施策間の共通課題や相乗効果を理解した上で、評価し取り組みに反映するなど、政策評価の質を高められるよう努められたい。
4	【エビデンスに基づく評価について】 成果は、可能な限りアンケート結果や現場でのヒアリングによる市民の声等の具体的なエビデンスに基づき評価結果を記載されたい。

5	【市の取組みのPRについて】 取組みは網羅的に記載するのではなく、重要視している取組みやアピールできるポイントがある取組み、社会的課題に挙がっており市民の関心が高い取組みに絞ることで、市民に伝わりやすい評価とされたい。また、成果をアピールする際は、他自治体との比較や過去の実績等を参考に挙げ、その取組みや数値がインパクトのあるものであることがわかるよう説明されたい。加えて、新規や拡充した取組みだけでなく、継続的に行っていることでも、豊中独自の取組みや豊中らしさを高める取組みであれば、発信されたい。
6	【市民にとってわかりやすい評価について】 専門的な用語や抽象度の高い用語については説明を加える、または用語集へ追加するなどし、読み手にとってわかりやすい評価とされたい。
7	【指標について】 後期基本計画の進捗管理をするにあたって、計画に記載している指標以外にも進捗を測るうえで必要な指標については、今後の政策評価の中で追加の視点として加えられたい。
8	【リーディングプロジェクトについて】 人口の社会増につながるなど、第4次総合計画の6ヶ年で一定の成果が出てきている。リーディングプロジェクトは、南部地域が魅力あふれる街に発展していくことで、市全体の活性化にも寄与することとしているため、今後の評価では、どのように全市に影響を与えているのかを記載されたい。

Ⅲ. 審議経過・審議会委員

◆ 審議経過

回	開催日程	内 容
第1回 総合計画審議会	令和6年(2024年) 10月1日 (火)	第2024年度(2023年度実施分)政策評価結果の諮問・審議
第2回 総合計画審議会	令和6年(2024年) 10月25日 (金)	第2024年度(2023年度実施分)政策評価結果の審議
第3回 総合計画審議会	令和6年(2024年) 12月3日 (火)	2024年度(2023年度実施分)政策評価結果への答申(案)の審議

◆ 審議会委員

	区分	名前	所属等
1	学識経験者	石川 路子	甲南大学 経済学部 教授
2		大野 まどか	大阪人間科学大学 人間科学部 教授
3		川久保 俊	慶應義塾大学 理工学部 准教授
4		岸本 みさ子	千里金蘭大学 教育学部 准教授
5		佐藤 将輝	L I N E ヤフー株式会社 事業開発部 部長
6		○高橋 一夫	近畿大学 経営学部 教授

7		田中 優	日本福祉大学 社会福祉学部 教授
8		野崎 志帆	甲南女子大学 国際学部 教授
9		◎久 隆浩	近畿大学 総合社会学部 教授
10		吉村 直樹	豊中商工会議所 会頭
11	公募市民	坂東 世理子	—
12		元木 健太	—

◎会長、○会長職務代理者、豊中市総合計画審議会規則第8条第3項に基づき、会長が部会長を指名

※区分ごとに五十音順、敬称略、役職等は令和6年(2024年)6月1日現在